

認知症総合支援事業等の評価

目標①	・支援困難となりがちな家族や地域と疎遠な独居高齢者の実態把握強化
取組	・市内の85歳以上の独居高齢者の実態把握を積極的に行い、家族や地域と疎遠な高齢者を早期に支援する。
成果	<ul style="list-style-type: none"> ・本庁・ステーション総合相談・訪問件数:延べ 1,404件 (うち、窓口対応件数:延べ256件) ・在宅介護支援センター総合相談・訪問件数:延べ1,073件(R4.12月末現在) (うち85歳以上の高齢者実人数:169人 ※対象者614人) ・認知症の相談:273件(本庁・ステーション) ・必要に応じて支援機関へのつなぎ、サービスの導入支援を行った。
評価	在宅介護支援センターとも連携をし対応を行った。ケースによっては認知症が進行してからの相談もあり、早期発見・早期対応の取り組みが必要である。
目標②	・認知症の正しい知識の普及啓発と医療・介護の連携による切れ目のない支援体制(認知症初期集中支援チーム)の強化
取組	・9月アルツハイマー月間における認知症理解促進のための啓発、認知症サポーター養成講座や介護予防出前講座の積極的開催
成果	<ul style="list-style-type: none"> ・9月アルツハイマー月間に合わせて認知症理解推進キャンペーンを開催 <ul style="list-style-type: none"> ・幟の設置(市役所・各ステーション) ・パネル展示・相談会(9月15日～22日) 場所:市役所市民ホール ・行政放送番組放映 <ul style="list-style-type: none"> ①「クイズで知ろう! 認知症」(たいようの丘ホスピタル児玉医師) ②「認知症の空白期間について」(認知症施策検討委員会委員) ③「認知症の人をサポートする事業所の紹介」(まつうらクリニック松浦院長) ・認知症を知るフェア(高梁市図書館・各図書室) ・認知症普及啓発ポロシャツの作成、着用 ・マグネットステッカー、啓発ポスターの掲示 ・一般向け認知症サポーター養成講座の開催 参加者:5名 ・オレンジガーデニングプロジェクトの実施 ・高梁市図書館との共催 <ul style="list-style-type: none"> 誰でも簡単自分史づくり 全6回:2クール開催 ・認知症初期集中支援チーム員研修1名受講(保健師) ・認知症初期集中支援チーム派遣:1件(継続支援中) ・認知症サポーター養成講座:25回、新規受講者394人
評価	・アルツハイマーに合わせた認知症普及啓発活動を積極的に行った。今後も内容を吟味し、継続した取り組みが必要である。

目標③	・認知症サポーターを中心にした本人・家族のニーズと支援をつなぐ仕組みの整備 (チームオレンジの構築)
取組	・認知症サポーターステップアップ講座によるオレンジサポーターの育成。チームオレンジとして活動するための基盤づくり
成果	・チームオレンジ「チーム布瀬のわ」結成 活動内容: ロコモ予防体操への誘い出し、声かけ ・認知症サポーターステップアップ講座を2か所で開催した。 (ステップアップ講座希望者・かわかみ茶坊)
評価	・チームオレンジが1か所結成された。かわかみ茶坊でもステップアップ講座2回目終了後に立ち上がる予定。 ・各地で認知症サポーターステップアップ講座によるオレンジサポーターの育成を行い、チームオレンジの構築を進めていく必要がある。
目標④	・本人が発信できる場の整備
取組	本人ミーティングの開催
成果	本人ミーティングの開催には至らなかったが、認知症地域支援推進員を中心に本人支援に取り組んだ。 ・認知症相談: 延べ 273件 うち認知症地域支援推進員による個別支援実人数 20人 高梁(2)、津川(1)、巨瀬(8)、中井(1)、落合(5)、有漢(2)、備中(1) 1名を認知症カフェへ繋げ、ボランティアとして参加された(5月・6月・7月) 本人向け認知症ケアパスについて、複数名に意見を聴取した。 ⇒本人向け認知症ケアパスへ反映
評価	今後も本人支援を行い、本人が発信できる場の整備が必要である。
次年度への課題	・認知症の早期発見と早期支援 ・9月のアルツハイマー月間における認知症普及啓発活動の継続 ・認知症サポーターステップアップ講座の開催とチームオレンジの設置 ・本人ミーティングの開催